福岡国際医療福祉大学専攻科に関する規程

（設置）

第１条　福岡国際医療福祉大学に次のとおり、専攻科を置く。

科　名	修業年限	入学定員	収容定員
言語聴覚専攻科	２　年	４０名	８０名

（教育課程）

第２条　専攻科の教育課程は、別表１のとおりとする。

（修業年限等）

第３条　専攻科の標準修業年限は２年とする。ただし学生は、在学すべき年数の２倍に相当する年数を超えて在学することができない。

（学納金等）

第４条　専攻科の入学検定料及び学生納付金については、別表２のとおりとする。

（入学資格）

第５条　言語聴覚専攻科に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

（１）大学を卒業した者

（２）学校教育法施行規則第１５５条第１項第１号から６号の規定により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

（取得資格）

第６条　言語聴覚専攻科を修了した者が取得できる資格は、言語聴覚士国家試験受験資格とする。

（休学期間）

第７条　専攻科の通算休学期間については、福岡国際医療福祉大学学則第４３条第２項の「４年」を「２年」と読み替える。

（単位）

第８条　授業科目の単位計算方法は、次の基準によるものとする。

１単位の授業科目を４５時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、

授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、１単位の授業時間数は、講義及び演習については１５時間から３０時間、実験、実習及び実技については３０時間から４５時間の範囲で定める。
臨床実習については、１単位を４０時間以上の実習をもって構成する。

（雑則）
第９条　その他専攻科に関して必要な事項は、別に定める。

第１０条　成績の評価その他の履修に関する必要な規定については、福岡国際医療福祉大学学則を準用する。

附　則
この規程は、平成３１年４月１日から施行する。

附　則
この規程は、令和３年４月１日から施行する。

別表１　授業科目の名称及び単位数並びに卒業に必要な単位数

言語聴覚専攻科

教育課程等の概要					
科目区分		授業科目の名称	単位数 必修	単位数 選択	備考
専門教育科目	専門基礎科目	医学総論	1		
		解剖学	1		
		生理学	1		
		病理学	1		
		内科学	1		
		小児科学	1		
		リハビリテーション医学	1		
		耳鼻咽喉科学	1		
		臨床神経学	1		
		精神医学	1		
		形成外科学	1		
		臨床歯科医学・口腔外科学	1		
		音声言語・聴覚医学	2		
		中枢神経機能学	1		
		臨床心理学	1		
		生涯発達心理学	2		
		学習・認知心理学	2		
		心理測定法Ⅰ	1		
		心理測定法Ⅱ	1		
		言語学	2		
		音声学	2		
		音声情報処理学・聴覚心理学	2		
		言語発達学	1		
		リハビリテーション入門	1		
		リハビリテーション概論	2		
		リハビリテーション演習	2		
		社会保障制度論・医療関連法規	1		
		小計（27科目）	35		
	専門科目	言語聴覚障害学概論	1		
		言語聴覚障害学演習Ⅰ	1		
		言語聴覚障害学演習Ⅱ	1		
		言語聴覚障害診断学	1		
		言語聴覚障害学特論Ⅰ	1		
		言語聴覚障害学特論Ⅱ	1		
		言語聴覚障害学特論Ⅲ	1		
		言語聴覚障害学研究法概論	2		
		失語症・高次脳機能障害学	2		
		失語症学	1		
		失語症学演習	1		
		高次脳機能障害学	1		
		成人言語障害学演習	1		
		言語発達障害学Ⅰ	2		
		言語発達障害学Ⅱ	2		
		言語発達障害学演習Ⅰ	1		
		言語発達障害学演習Ⅱ	1		
		発声発語障害学	1		
		音声障害学	1		
		運動障害性構音障害学Ⅰ（基礎）	1		
		運動障害性構音障害学Ⅱ（応用）	1		
		器質性構音障害学	1		
		機能性構音障害学	1		
		摂食・嚥下障害学Ⅰ（基礎）	1		
		摂食・嚥下障害学Ⅱ（応用）	1		
		吃音学	1		
		聴覚障害学Ⅰ	2		
		聴覚障害学Ⅱ	1		
		聴覚障害学Ⅲ	1		
		聴覚障害学Ⅳ	1		
		小児聴覚障害学Ⅰ（基礎）	1		
		小児聴覚障害学Ⅱ（応用）	1		
		臨床実習	12		
		小計（33科目）	49		
合計（60科目）			84		

卒業要件及び履修方法
卒業要件84単位 専門教育科目：必修84単位（専門基礎科目：35単位、専門科目：49単位）。

別表２　　入学検定料及び学生納付金

（2-1）　入学検定料　　単位：円

	入学検定料
言語聴覚専攻科	30,000

（2-2）　学生納付金　　単位：円

学生納付金	入学金	授業料	実験実習費	施設設備費	年度合計
１　年	300,000	900,000	0	300,000	1,500,000
２　年	―	900,000	300,000	300,000	1,500,000